

バロック音楽 ~始まりから隆盛へ~

2025年5月25日 (日)

13:30開場 14:00開演

うるこいち

鱗一ホール

登録有形文化財 廣海家住宅主屋内
南海本線貝塚駅 西出口より徒歩8分

A席 : 3,000円
S席 : 3,500円

フラウトトラヴェルソ: 門野 満里
バロックファゴット: 高島 翔大
スピネット: 横井 鈴香

Program

J.S.Bach (1685-1750): フルートソナタ 口短調 BWV1030

F.W.Zachow (1663-1712): トリオソナタ ヘ長調

J.B.Boismortier (1689-1755): トリオソナタ ホ短調 Op.37-2

J.P.Sweelinck (1562-1621): 「緑の菩提樹の下で」 SwWV325

L.Couperin (1626-1661): 組曲 イ短調

他

写真は当日使用するスピネット (久保田チェンバロ工房)

共催: 一般社団法人貝塚寺内町保存活用事業団

下記のサイトよりご予約ください

<https://forms.gle/PJzJhQtRpnAUqyGr5>

お問い合わせ: urokoichi163@gmail.com
suzuiro@music.nifty.com



----- 演奏者 プロフィール -----

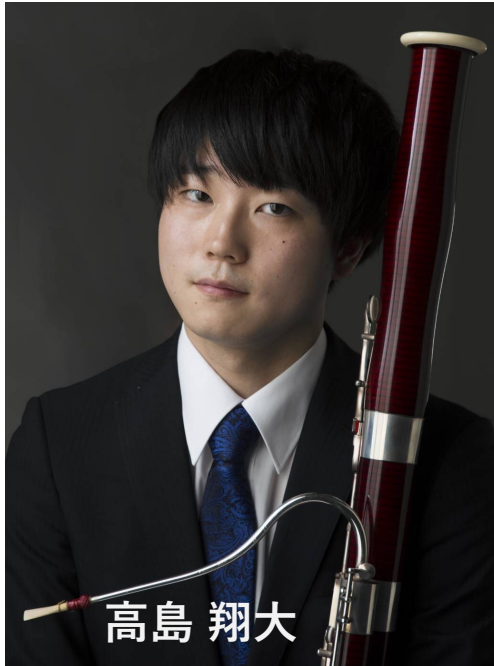
門野 満里



岡山県出身。岡山学生フルートコンクール第1位。大阪芸術大学演奏学科卒業、卒業時に学科賞受賞。同大学院修士課程修了。

フルートを星島明郎、大友太郎、山本恭平、金昌国、L.コヴァーチ各氏に、フラウト・トラヴェルソを石橋輝樹氏に、龍笛を吉田洋明氏に師事。関西室内楽協会に所属し、コンチェルト、ジョイントリサイタル等出演。バッハアカデミー関西カンタータシリーズに参加。龍笛奏者としても活動している。現在、ピコラミュージック音楽教室講師、大阪チェンバーオーケストラメンバー。

高島 翔大



大阪府大阪市出身。15歳よりファゴットを始める。私立大阪桐蔭高等学校、京都市立芸術大学管打楽専攻卒業。同大学大学院音楽研究科修士課程修了。

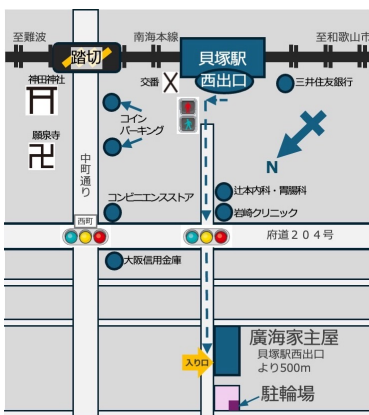
ファゴットを中野陽一朗、國府利支恵の両氏に、リコーダーを秋山滋氏に師事。2018年4月、2023年11月にソロリサイタルを開催。現在、フリーランスファゴット、コントラファゴット奏者としてオーケストラへの客演をはじめジャズやポップスオーケストラ等、様々な音楽シーンで活動している。大阪芸術大学演奏要員、関西室内楽協会及び大阪チェンバーオーケストラに所属。

横井 鈴香



大阪芸術大学演奏学科ピアノ専攻卒業。ピアノ奏者として活動していたがチェンバロに転向。

チェンバロを河野まり子、上田啓子両氏に師事。ロール・モラビト氏のマスタークラス受講。大阪国際音楽コンクールアーリーミュージック部門入選、大阪ピアノコンクール連弾部門入選、ショパンの会コンクール論文部門優良賞。チェンバロアカデミー、日本チェンバロ協会、関西室内楽協会各会員。元PL学園女子短期大学助手。ソロコンサートや通奏低音等の演奏活動を続けている。



鱗一ホールアクセス

登録有形文化財 廣海家住宅主屋内

南海本線貝塚駅より徒歩8分

駐車・駐輪：自転車、オートバイは左図の駐輪場、自動車は近隣のコインパーキングをご利用ください。

会場（鱗一ホール）について

廣海家は1835年に貝塚寺内の有力町人明瀬家の娘ひろが、摂津国鳴尾の酒造家辰馬半右衛門家から養子を迎えて諸色問屋を開業したことに始まる。

会場になっている主屋は1861年に建てられた「間口18間半（33.3m）」の長大な町家である。入り口を入ると両側にミセとシモミセがあり、その奥の広い土間（ニワ）には井戸や竈が残っている。桁行5間と6間の太い大梁やその上の小屋組は見応えがある。会場の名前になっている「鱗一」（三角の下に横棒1本）は廣海商店の「ロゴ」。



A席は土間

S席は2階（アクセスは階段）